

公表

事業所における自己評価結果

事業所名		通所運動療育アットスクール鹿島田		公表日		2025 年 3月 19 日	
	チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点		
環境・体制整備	1	利用定員が発達支援室等のスペースとの関係で適切であるか。	5		その日の児童数や特性に応じて、車椅子及びバギーの配置場所やマットの置き方を工夫しているためスペースは適切だと思われる。		
	2	利用定員やこどもの状態等に対して、職員の配置数は適切であるか。	5		社内でのヘルプ体制は充実していると思う。		
	3	生活空間は、こどもにわかりやすく構造化された環境になっているか。また、事業所の設備等は、障害の特性に応じ、バリアフリー化や情報伝達等、環境上の配慮が適切になされているか。	5		施設内は平地であり、車いす用の広いトイレも完備されている。 障害特性に合わせて掲示物の量や児童の過ごす場所を日々決めている。		
	4	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっているか。また、こども達の活動に合わせた空間となっているか。	5		児童が使用する物や施設内の備品は消毒を実施し、物で濡れた中で児童が過ごすことのないように、物と児童が離れるようスペースを確保している。		
	5	必要に応じて、こどもが個別の部屋や場所を使用することが認められる環境になっているか。	5		児童の様子に応じて個室などでスタッフが付き添ってクールダウンすることが可能となっている。	児童がバニクになった際、落ち着くよう隣の部屋に移動したいがスタッフの目が離れるため児童の人数が多いときは移動ができない時がある。	
業務改善	6	業務改善を進めるためのPDCA サイクル（目標設定と振り返り）に、広く職員が参画しているか。	5		日々のミーティングでは、スケジュールの確認だけではなく、業務や支援について困っていることについて話し、改善するための案をだし、実践できている。		
	7	保護者向け評価表により、保護者等の意向等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	5		・改善点の明確化ができ、今後に生かしている。 ・行政のルールに基づき、評価表を保護者にお渡ししている。また頂いたご意見やご要望に対しては改善案や保護者に回答を行っている。		
	8	職員の意見等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	5		上長は現場を訪れ、現場の状況も確認しながら、困っていることはないか等、スタッフの話しや意見を聞いてくれていて、改善案をその後提案してくれている。		
	9	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか。	4	1		今後必要であれば実施していく。	
	10	職員の資質の向上を図るために、研修を受講する機会や法人内等で研修を開催する機会が確保されているか。	5		法人内にて救急時対応研修、呼吸器研修、動画による研修などがあり、他にも研修案内も紹介してくれている。		
適切	11	適切に支援プログラムが作成、公表されているか。	5		児童発達支援管理責任者がしっかりアセスを取り、ニーズや課題に応じて個別支援計画を立てて職員一同共有している。		
	12	個々のこどもに対してアセスメントを適切に行い、こどもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、放課後等デイサービス計画を作成しているか。	5		対面での面談を行い、児童保護者のニーズや課題を聞いたうえで個別支援計画の内容の見直しを行っている。		
	13	放課後等デイサービス計画を作成する際には、児童発達支援管理責任者だけでなく、こどもの支援に関わる職員が共通理解の下で、こどもの最善の利益を考慮した検討が行われているか。	5		・策定会議の際に出席できない場合でも策定会議がある旨を事前に周知され、意見等を伝えることができる。 ・担当者会議にて、児童発達支援管理責任者だけでなく関わる全ての職員と理解を深めている。		
	14	放課後等デイサービス計画が職員間に共有され、計画に沿った支援が行われているか。	5		個別支援計画をもとに生活面に役立てることを練習したり制作等の活動で腕や指先の可動域向上などに努めている。		
	15	こどもの適応行動の状況を、標準化されたツールを用いたフォーマルなアセスメントや、日々の行動観察なども含むインフォーマルなアセスメントを使用する等により確認しているか。	4	1		・ミーティングの際、連絡帳の特記事項に赤線を引いて普段の状況を理解し、見返した時分かりやすくしている。	必要性がある場合は使用を検討する。
	16	放課後等デイサービス計画には、放課後等デイサービスガイドラインの「放課後等デイサービスの提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」及び「地域支援・地域連携」のねらい及び支援内容も踏まえながら、こどもの支援に必要な項目が適切に設定され、その上で、具体的な支援内容が設定されているか。	5		・五領域をもとに個別支援計画作成を行っている。 ・環境や成長の変化に合わせた目標設定を行っている。		
	17	活動プログラムの立案をチームで行っているか。	5		チームで行い、時に他事業所に相談したりと情報共有を行っている。		

り な 支 援 の 提 供	18	活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか。	5		・インスタグラム等を用いて新しいアイデアを日々模索している。 ・年間で療育テーマを立てて、様々な感覚を刺激できるよう固定化されないよう工夫している。	
	19	こどもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせ放課後等デイサービス計画を作成し、支援が行われているか。	5		個人と集団活動を意識して支援している。(その日の児童の様子を見て)	
	20	支援開始前には職員間で必ず打合せを行い、その日行われる支援の内容や役割分担について確認し、チームで連携して支援を行っているか。	5		・ミーティングの際、振り返りで児童の状態を共有したりその日の流れをおさらいしている。 ・タイムスケジュールを用いて、流れや注意事項を共有理解を行っている。	
	21	支援終了後には、職員間で必ず打合せを行い、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか。	3	2	送迎終了時間が18時近くなので緊急の特記事項がない限り次の日のミーティング時に行っている。	
	22	日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか。	5		・ミーティングの際、連絡帳の特記事項に赤線を引いて改善点の見えるかを図っている。 ・連携記録に入れている。	
	23	定期的にモニタリングを行い、放課後等デイサービス計画の見直しの必要性を判断し、適切な見直しを行っているか。	5		・児童に合わせて面談の期間を設け、新たにアセスをとっている。	
	24	放課後等デイサービスガイドラインの「4つの基本活動」を複数組み合わせ支援を行っているか。	5			
	25	こどもが自己選択できるような支援の工夫がされている等、自己決定をする力を育てるための支援を行っているか。	5		制作では色や形、素材など児童に合わせて方法で選択できるような療育を取り入れている。	
	関 係 機 関 や 保 護 者 と の 連 携	26	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議や関係機関との会議に、そのこどもの状況をよく理解した者が参画しているか。	5		
27		地域の保健、医療（主治医や協力医療機関等）、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携して支援を行う体制を整えているか。	5			
28		学校との情報共有（年間計画・行事予定等の交換、こどもの下校時刻の確認等）、連絡調整（送迎時の対応、トラブル発生時の連絡）を適切に行っているか。	5		送迎時間や予定表の共有している。 また送迎時その日の本児の様子を聞いたり最近の過ごしやお互いの課題で工夫している事なども共有している。	
29		就学前に利用していた保育所や幼稚園、認定こども園、児童発達支援事業所等との間で情報共有と相互理解に努めているか。	5			
30		学校を卒業し、放課後等デイサービスから障害福祉サービス事業所等へ移行する場合、それまでの支援内容等の情報を提供する等しているか。	5			
31		地域の児童発達支援センターとの連携を図り、必要等に応じてスーパーバイズや助言や研修を受ける機会を設けているか。	5			
32		放課後児童クラブや児童館との交流や、地域の他のこどもと活動する機会があるか。	3	2		ニーズを把握し、必要であれば感染症対策に講じながら行っていきたい。
33		(自立支援)協議会等へ積極的に参加しているか。	4	1		
34		日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか。	5			
35		家族の対応力の向上を図る観点から、家族に対して家族支援プログラム（ペアレント・トレーニング等）や家族等の参加できる研修の機会や情報提供等を行っているか。	5			
	36	運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか。	5			
	37	放課後等デイサービス提供を作成する際には、こどもや保護者の意思の尊重、こどもの最善の利益の優先考慮の観点を踏まえて、こどもや家族の意向を確認する機会を設けているか。	5			

保護者への説明等	38	「放課後等デイサービス計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から放課後等デイサービス計画の同意を得ているか。	5		面談や送迎時にしっかり説明したうえで計画書を一度持って帰ってよく見てもらったうえでサインを頂いている。	
	39	家族等からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、面談や必要な助言と支援を行っているか。	5		保護者が悩んでいた場合面談、送迎時、電話等で相談、助言できている。	
	40	父母の会の活動を支援することや、保護者会等を開催する等により、保護者同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。また、きょうだい同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。	3	2		行ったことはないがアンケート等で保護者の会を設けてほしいという声があったため、今後上の者に相談し検討していきたい。
	41	こどもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、こどもや保護者に周知し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応しているか。	5		苦情については迅速に対応できるよう努めている。	
	42	定期的に通信等を発行することや、HPやSNS等を活用することにより、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報をこどもや保護者に対して発信しているか。	5		年3回の会報誌や利用予定表にて情報発信している。	
	43	個人情報の取扱いに十分留意しているか。	5			
	44	障害のあるこどもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか。	5		障害特性に応じて、絵カードを使用したり、手話等も取り入れている。	
	45	事業所の行事に地域住民を招待する等、地域に開かれた事業運営を図っているか。	4	1		
非常時等の対応	46	事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や家族等に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施しているか。	4	1		訓練は実施しており、マニュアルは職員には周知しているが、家族への周知までには至っていない。
	47	業務継続計画（BCP）を策定するとともに、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか。	5		定期的に訓練を実施しPDAに基づき振り返りを行っている。	
	48	事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等のこどもの状況を確認しているか。	5		日々服薬内容について保護者より情報をとっている。	
	49	食物アレルギーのあるこどもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか。	5			
	50	安全計画を作成し、安全管理に必要な研修や訓練、その他必要な措置を講じる等、安全管理が十分された中で支援が行われているか。	5			
	51	こどもの安全確保に関して、家族等との連携が図られるよう、安全計画に基づく取組内容について、家族等へ周知しているか。	5			
	52	ヒヤリハットを事業所内で共有し、再発防止に向けた方策について検討をしているか。	5			
	53	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか。	5			
54	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、こどもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、放課後等デイサービス計画に記載しているか。	5		個別支援計画書及び同意書をとっている。		